

★歯みがき

毎食後に必ず歯をみがくという習慣をつけるために、昼食後は利用者個々に応じて職員が介助などを行っています。自分でみがける利用者へは仕上げを、その他の利用者へは全介助で歯みがきを行うとともに、家庭環境により朝みがけないまま通所してくる利用者には、朝の歯みがき支援も実施しています。このため、利用者の歯は全体的にきれい、毎食後みがく利用者は14名います。お母さんたちも「重度の人の歯の治療は大変なので、家庭でも気をつけています。」とおっしゃっています。



(昼食後の歯みがき)



昼食後のみがき忘れを防ぐため、「歯みがきチェック表」を洗面台の横に貼り付け、職員が当日歯みがきをした利用者欄にチェックを入れます。全員で確認でき、みがき忘れの防止に役立っています。



(歯みがきチェック表)

また、利用者個々に合わせた介助方法を一覧にした「利用者の歯みがき介助表」も洗面台の横に貼ってあり、新人職員、実習生、職員が利用者個々の歯みがき介助方法を確認できるよう工夫しています。

NO	氏名	介助方法
1		全介助
2		初め自分でみがき、その後仕上げ
3		初め自分でみがき、その後仕上げ
4		全介助
5		全介助
6		全介助
7		初め自分でみがき、その後仕上げ
8		初め自分でみがき、その後仕上げ
9		全介助 ← 毎日1分
10		全介助

(歯みがき介助表)

さらに、4名の利用者に口唇体操をマニュアルに沿って毎日昼食前に5分間実施しています。その結果、「かみ合わせが良くなった」、「食べ物の飲み込みが良くなった」、「食べこぼしが少なくなった」などの改善が見られ、今後も継続していきたいと思っています。



(口唇体操：歯科衛生士のアドバイスで始めた)

【終わりに】

重度の利用者は意思疎通がとりにくく、自分から歯の痛みや状態を訴えることができません。むし歯や歯周病の予防のために食後に歯をみがく習慣をつける重要性を、家庭と連携しながら共有していきたいと思っています。また、今後も昼食後の歯みがきを特に大切に考え、しっかり継続していきたいと思っています。

いつまでも自分の歯で食べられるように法人全体で口腔ケア、健康づくりに努めていきたいと思っています。

(記事作成：東京都多摩小平保健所)